

「北九州市・暮らし」ソーシャルメディア運用ポリシー

1 目的

北九州市のリアルな生活情報を通じて定住先、移住先には選ばれるような情報を発信します。

2 アカウント名、URL および ID

(1) フェイスブック

名称：北九州市・暮らし

ユーザ ID：@KitakyushuLife

URL：<https://www.facebook.com/KitakyushuLife>

(2) ツイッター

名称：北九州市・暮らし

ユーザ ID：@KitakyushuLife

URL：<https://x.com/KitakyushuLife>

(3) インスタグラム

名称：北九州市・暮らし

ユーザ ID：@kitakyushulife_official

URL：https://instagram.com/kitakyushulife_official

3 発信情報内容

本市の定住・移住等に関する以下の情報等を必要に応じて発信する。

- (1) 本市の魅力に関する情報
- (2) 移住相談会やセミナー等のイベント情報
- (3) 移住支援制度に関する情報
- (4) その他移住に関する本市の情報

4 なりすましの防止

- (1) 市ホームページ上にアカウント名を表示する。
- (2) 各ソーシャルメディアのプロフィールに市ホームページのリンクを貼り相互性を持たせる。

5 アカウントへの投稿やメッセージに対する回答について

当アカウントへいただいたコメント・リポスト・ダイレクトメッセージ等に対して回答または「いいね」等の反応をする場合もあります。原則、すべてのコメント、その他の要望・意見等に対して、個別に回答または反応をするものではありません。

6 ユーザからの投稿やメッセージ等（以下投稿等という）に対する管理者の対応について

各アカウントの投稿に対し、下記のような内容のコメントを投稿しないでください。

投稿の内容が下記事項のいずれかに該当すると判断した場合は、事前の通告なしに投稿を削除するこ

とがあります。

- (1) 特定の個人、企業、国、地域を誹謗中傷する内容
- (2) 北九州市を含む他者になりすますなど、虚偽や事実と異なる内容
- (3) 広告、宣伝、勧誘、営業活動、その他営利を目的とした内容
- (4) 著作権、商標権、肖像権などの本市または第三者の知的財産権を侵害する恐れのある内容
- (5) 法律、法令等に違反している内容、または違反する恐れがある内容
- (6) 公序良俗に反する内容
- (7) 本人の承諾なく個人情報を特定・開示・漏えいするなど、個人のプライバシーに関わる内容
- (8) 有害なプログラムを配布する内容
- (9) 悪意あるサイトへ誘導する内容
- (10) 政治活動、宗教活動を目的とした内容
- (11) 各 SNS の利用規約に反する内容
- (12) 上記(1)から(11)の他、各アカウントの運営上、他人に不利益を与えるなど、北九州市が不相当と判断した内容

7 個人情報の取り扱いについて

各アカウントでの個人情報の収集・利用・管理については、「個人情報保護法」に基づき、次のとおり適切に取り扱うこととします。

- (1) 個人情報とは、SNSを通じて北九州市が提供を受けた、生存する個人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む。）をいいます。
- (2) SNSを通じて北九州市が個人情報を収集する際は、利用者の意思による情報の送信・提供によることを原則とします。個人情報の収集にあたってはその利用目的を特定し、明示します。個人情報の収集は特定された利用目的を達成するために必要な範囲内で行います。
- (3) 収集した個人情報は、あらかじめ明示した利用目的の範囲内で利用します。個人情報は、本人の同意がある場合など法令で定める場合を除き、明示した利用目的以外で利用・提供することはありません。
- (4) 収集した個人情報については、「北九州市情報セキュリティに関する規程」に基づき厳重に管理します。保存の必要のなくなった個人情報については、確実に、かつ、速やかに廃棄または消去します。

8 知的財産権

各アカウントに掲載している内容（文章、写真、イラストなど）に関する知的財産権（商標権、著作権等の全ての権利）は、北九州市あるいは北九州市以外の原著作者等に帰属します。

各アカウントの内容について、「私的使用のための複製」や「引用」など著作権法上認められた場合を除き、無断で複製・転用することはできません。

ただし、Facebook ページ上で「シェア」あるいは X ページ上で「リポスト」の機能を使用し、掲載

